



そして、ラグビーのワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピック、新しい時代の幕開けに当たり、私たちはどのような国づくりを進めていくのか。この国の未来像について議論を深めるべきときに来ていると思います。

憲法改正について、最終的に決めるのは、主権者たる国民の皆様であります。だからこそ、まずは具体的な改正案を示して、国会で活発な議論を通じ、国民的な議論や理解を深める努力を重ねていくことによって、また、重ねていくことが選挙で負託を受けた私たち国会議員の責務であろうと考えています。

国会において活発な議論がなされ、与党、野党といった政治的な立場を超え、できる限り広範な合意が得られることを期待しています。

## 「憲法は、国の未来、そして国の理想を語るもの」との間違いを繰り返す！

このように「憲法は、国の未来、そして国の理想を語るもの」と、さらに「改憲議論は国会議員の責務」と、成蹊大学法学部政治学科時代に何を学んだのか、また平然と間違いを口にしました。憲法は国民の権利を守るために権力を縛るものであり、国会議員は文句なしに憲法を守らねばなりません。安倍首相は嘘も百回言えば通じると思っているのでしょうか。いずれにせよ、安倍首相に憲法を語る資格がないことは明瞭です。

そして、いつもの「具体的な改正案を示して、国会で活発な議論を通じ、国民的な議論や理解を深める努力を重ねていくこと」と発言し、改めて改憲への意欲を示しました。国民の多数が「安倍政権下での改憲反対」と様々な世論調査で応えているのを知らないのでしょうか。それとも無視しているのでしょうか。呆れた安倍首相です。

## 「いのししのようなスピード感としなやかさを兼ね備えながら政権運営」とは？

会見のなかで、考えさせられた発言がありました。安倍首相は、会見の中で「いのししは猪突猛進という言葉があるように、走り出せば時速 50 キロにも及ぶ。脇目も振らずに突進するという印象をお持ちの方も多いと思います。しかし、その動きは自由自在。障害物があれば左右によけたり、ひらりとターンすることができる。意外と身のこなしが極めてしなやかな動物だそうであります。私も本年は、いのししのようなスピード感としなやかさを兼ね備えながら政権運営に当たってまいりたい。亥年の年頭に当たって、そう決意しています」と述べました。



これは改憲で考えれば、国民や野党の反対で改憲論議が進まない中で、「左右によけたり、ひらりとターンして」、当分は強行せずに、通常国会では国民投票法案の改正を進め、参院選で再び3分の2の改憲勢力を得て、一気に「時速 50 キロ」で、「わき目も降らずに」改憲に突進するというシナリオなののでしょうか。

## 自民党の2019年運動方針 通常国会で国民投票法改正案改正を急ぎ、秋の臨時国会以降に改憲発議

自民党の2019年運動方針について時事通信等が報じています。それによりますと、自民党は夏の参院選までは日程が窮屈で改憲案の国会発議は難しい情勢だと判断し、通常国会で国民投票法改正案の処理を急ぎ、秋に想定される臨時国会以降の進展をめざす方針だとしています。

また、参院選までは19年度予算案の審議や統一地方選挙など与野党の対立が続き、皇位継承やG20首脳会議の大阪開催と重要行事も入り、静かに改憲論議を進める環境ではないとして、首相周辺は「通常国会で国民投票法改正をどこまでできるかだ」と指摘し、自民党関係者は「発議は来年の通常国会。早くても今年の臨時国会だ」と語ったことも紹介しています。

しかし、立ち足はかかるのは参院選。発議に必要な3分の2の勢力を維持できるかです。自公・維新の会、希望の党の参院現有議席は計164です。自民党内では大勝した13年当選組が改憲を向かえるために「議席減は不可避」との見方も出ています。このため、同記事では改憲論議自体に前向きな国民民主党の取り組みを模索し、自民党側から猛烈なアプローチをしているとも報じています。

## 各地のとくくみ

## 埼玉弁護士会 県内 4 ヶ所で「自衛隊明記案に反対する」パレードを開催計画！

埼玉弁護士会は、次のような文書を会員に発し、県内 4 ヶ所で「自衛隊明記案に反対する」パレードを開催する計画を明らかにし、会員に家族や友人を誘って参加するよう呼びかけました。

「自衛隊明記案に反対する」パレード 各支部で開催します！

会員各位

2018（平 30）年 12 月 25 日

埼玉弁護士会 会長 島田浩孝

平素より、当会の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

皆様ご存じのとおり、当会では、2008 年 524 日の「日本国憲法の平和主義を堅持することを求める決議」をはじめとして、各総会決議・会長声明等で意見を発し、日本国憲法の平和主義や立憲主義を堅持するための諸活動に取り組んでまいりました。そして、この度、10 月 2 日に臨時総会を開催し、「自衛隊明記案に反対する総会決議」を採択しました。

現在、憲法改正について、臨時国会での提示はされず、来年の参院選までの発議は困難な見通しと報道される一方で、安倍首相が、2020 年新憲法施行改めて意欲を示しています。

そこで、9 月 19 日・11 月 14 日の浦和でのパレードに続き、今回の総会決議をもとに、各支部でパレード開催を企画しています。なお、詳細につきましては、開催前に改めてご連絡させていただきます。

【川越】 2019 年 1 月 25 日（金）午後 2 時から（予定）

川越駅東口緑地（川越駅最寄り）スタート

【熊谷】 2019 年 2 月 22 日（金）午後 0 時から（予定）

熊谷市役所～星川通り～熊谷駅北口

【越谷】 2019 年 3 月 4 日（月）午後 0 時から（予定）

越谷市役所～越谷駅

【浦和】 2019 年 3 月 13 日（水）午後 0 時から（予定）

埼玉県庁東側～県庁通り～浦和駅西口

当会会員の皆様におかれましては、是非とも、ご家族やご友人をお誘いあわせの上ご参加いただきたく、よろしく申し上げます。

また、平 31 年 3 月 12 日（火）18 時半から、埼玉会館小ホールにて、戦場カメラマンでジャーナリストの渡部陽一さんを及びし、憲法と人権を考える市民の集いを開催いたしますので、是非ともご参加ください

## 国会前 3 日「アベ政治を許さない」ポスターを掲げ

「アベ政治を許さない」ポスターを一斉に掲げる行動が 3 日、全国各地で取り込まれました。国会正門前でも時折冷たい風が吹くなか、150 人が集まり、今年こそ安倍政権を退陣に追い込もうと決意を新たにしました。

中野区の女性（65）「アメリカのために戦闘機を買うのに、生活が苦しい国民には消費税 10%を押し付ける。あまりにもひどい政治に、慣れて、諦めるような風潮もありますが、決して諦めてはいけません。諦めたら何もならないと、この活動で改めて知った。安倍政権を退陣に追い込むまで続けます」と述べました。江戸川区の女性（64）は「今年は、とにかく安倍首相を辞めさせたい。夏の参院選は、野党が一致結束することを応援して盛り上げていくつもりです。野党が議席を増やさなければ」と話しました。



行動を呼びかけている作家の澤地久枝さんのほか、作家の渡辺一枝さん、コメディアン松元ヒロさんらが参加しました。澤地さんは「もっと大きな力になって、安倍首相が心を寒くして早く辞めてくれるといいと、心から願っています」と述べました。

また、松元さんがコントで安倍内閣を風刺すると、大きな歓声と拍手が起きました。